

平成30年度学校運営計画書

学校名 和歌浦小学校 校長名 福田 佳武 作成日 平成30年 5月29日

学校教育目標

「健康なからだ、確かな考え、豊かな心を持ち意欲的に活動する子どもを育てる」

心身共にたくましく、
健康な生活をおくれる子

自分や他人の人格を尊重し、
思いやりのある子

自分の考えや思いをしっかりと
表現できる子

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>本 年 度 の 重 点 目 標</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○地域の文化・人材等を活用するネットワークづくりに取り組む。 ○保護者や地域の方々との連携をさらに深め、信頼される学校づくりを進める。 ○学校運営協議会と連携し、よりよい教育活動につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などに進んで取り組む。 ○読書活動の充実をはかる。 ○道徳の指導を充実させ、児童の実態に応じた判断力・行動力を養う。 ○特別支援教育の推進に努める。 ○人権意識向上に向け、教育活動全般を通して取り組みを行。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「自分の考えや思いをしっかりと表現し、学び合える」魅力ある授業づくりをめざす。 ○指導方法の工夫・改善をはかるため、教職員の研修の場を大切にする。 ○学力の向上のため、学習の手引きを配布し、自主学習に取り組み、家庭との連携を進める。 |
| <p>目 標 達 成 に 向 け た 具 体 的 方 策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりを校区の方々に回覧する。また、ホームページ等で学校行事等についての情報発信に努める。 ○学年集会発表や文化・体育的行事を地域や家庭に知らせ、参観して頂くと共に、講師としても協力して頂く。 ○「地域先達との協働・連携による学校教育力の充実事業」を積極的に活用し、地域の方に放課後活動に参加して頂く。 ○学校運営協議会からの提言を教育活動に反映させ、学校改善に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などの基本的な生活習慣について、さらなる定着をはかるとともに家庭・保護者への啓発にも努力する。 ○家庭・地域と連携し、読書活動を充実させる。また、図書室や学級文庫、うちどく文庫を整備し、魅力ある読書環境の充実に努める。 ○図書委員会の低学年の子への読み聞かせや本の帯大会を実施することで本に親しむ機会を多く作る。 ○道徳の時間の充実のため、教材の工夫や整備に努める。 ○学年別人権集会を通して人権意識の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童の実態をしっかりと捉え、一人ひとりに応じた楽しくわかる授業づくりの実践研究に取り組む。 ○学習規律の定着を学校全体で取り組む。 ○教職員の実践力の向上のため、授業研究を軸に様々な研修を計画的に実施する。 ○学力の確実な定着をはかるため、家庭学習に力を入れ、家庭・保護者の協力のもと、「自主学習ノート」の活用をすすめていく。 ○「和歌浦タイム」を有効に活用し、基礎学力の定着を推し進める。 |
| <p>指 標</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学校の様子がよく伝わった。(保護者 90%以上) ○中学校区に接続、連携した取り組みを具体的に実践できた。(教師 80%以上) | <ul style="list-style-type: none"> ○学校が楽しいと感じる。(児童 90%以上) ○道徳の時間が楽しいと感じる。(児童 90%以上) | <ul style="list-style-type: none"> ○県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均に近づける。(－2ポイント以内) ○わかる授業、子供主体の授業を実践した。(教師児童 90%) |